

小田川市政 二期目スタート!

【市長プロフィール】

小田川 浩 (おだがわ ひろし)
昭和42年1月23日生まれ(55歳)
つくばみらい市福原出身

■経歴

昭和54年に三島小学校、昭和57年3月に伊奈中学校を卒業、昭和60年3月に県立藤代高校卒業後、会社員を経て会社役員に。その後、明治大学公共政策大学院を修了し、平成30年4月につくばみらい市長に当選。今年4月につくばみらい市長2期目となった。



当選証書を受け取る小田川市長[㊤]と間根山市選挙管理委員会委員長[㊦]

任 期満了に伴うつくばみらい市長選挙が4月17日に告示されました。結果、現職以外に立候補の届け出が無かったため、無投票で小田川市長の再選が決まりました。二期目初日となる5月16日に初登庁した小田川市長に、これからのつくばみらい市について語っていただきました。

—はじめに、今のお気持ちをお聞かせください。

小田川市長 このたび、引き続き市長として二期目の市政を担わせていただくことになりました。改めてその責任の重さを痛感しているところであり、市民の皆さんのご協力をいただきながら、市政課題の解決に全力を傾け、市政発展のため、決意を新たにまい進していきます。



初登庁の様子

—これからのつくばみらい市についてお聞かせください。

小田川市長 これまでの常識にとらわれず、新たな発想でこのつくばみらい市を新しく変化させていきたいです。その新しいつくばみらい市を作り上げるために、「もっとみらいへ」をテーマに掲げ、4つの新たな「みらいビジョン」をもとに政策を検討し、つくばみらい市発展のための市政運営を進めていきます。

—最後に、市民の皆さんにメッセージをお願いします。

小田川市長 「昨日よりもっと進んだ新しい今日へ、そして新しい明日へ。それが新しいみらい『もっとみらいへ』繋がっていく」そんなつくばみらい市を目指して、まちづくりを進めていきます。「もっとみらいへ」推進していくために、市民の皆さんには格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

4つの新たな「みらいビジョン」

"みらい"につながる好循環なまち



人が賑わいを作り、まちが潤い、新たなチャレンジが人をよぶまちを目指します

- 既存地域にも賑わいを生み出せるように、都市計画の見直しを検討し、子育て世代を中心とした、新たな賑わいのあるまちを創出します。
- 福岡工業団地第2期地区に、市民が求める・市が求める企業を誘致します。
- つくばみらい市が目的地となるよう、魅力のあるスマートインターチェンジ周辺開発を進めます。
- 新時代の技術とマッチした、ワープステーション江戸周辺の開発を進めます。
- 農産物に付加価値をつけ、農業に携わる方が夢と希望を持てる「みらい型農業」を推進します。
- ふるさと納税など、つくばみらい市の魅力をPRし「稼ぐつくばみらい市」を推進します。



"あれも、これも"本気の子育てのまち

子育て・子育てや学びを応援し、寄り添う支援のあるまちを目指します



- 家庭や地域による「子育て」や、子どもたちが自ら成長していく「子育て」を支える社会環境づくりを進めます。
- ICTを活用した新たな教育環境を進めます。
- 英語教育やコミュニケーション能力、科学的思考力を育てる教育を進めます。
- みらい平地区に公立中学校を建設し、早期開校に向け準備を進めます。

"ど真ん中"に市民がいるまち



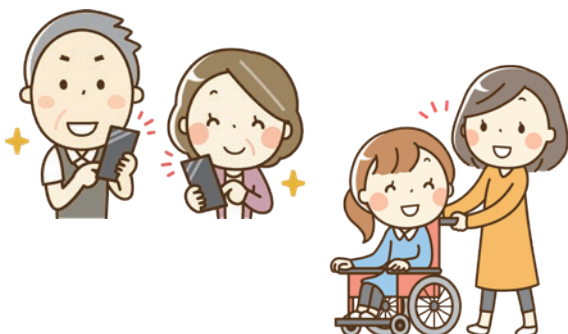
市民目線・地域目線で地域の特性を活かし、スピード感があるまちを目指します

- 市民の声に耳を傾け、スピード感をもって市政運営に取り組みます。
- 国や県を待たず、本当に必要な「つくばみらい発」といえる政策を展開します。
- 市と市民が一緒になり課題や問題点を解決する、市民参加型のまちづくりを進めます。
- 「ウィズ・コロナ」「アフター・コロナ」を見据え、「市民を守る」と「経済の拡大」の両輪を進め、先手先手の対策を講じます。



"人に、社会に"やさしいまち

すべての人が社会で支え合う、優しさあふれるまちを目指します



- 民間企業との協働のまちづくりを進めます。
- 市民・地域・企業が連携・協力した、防災・防犯のまちづくりを進めます。
- 情報格差を解消するため、高齢者へのデジタル技術の利用支援を進めます。
- コミュニティバスなど地域公共交通の利便性を高めます。
- 新たな地域エネルギーの創出を推進し、つくばみらい市版SDGsを構築します。